

第4回地域審議会会議録

(竜王地区)

1. 日時

平成19年8月20日(月)

13:30～16:10

2. 場所

甲斐市竜王庁舎 3階：大会議室

3. 会議次第

- (1) 開会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 部長あいさつ
- (4) 審議事項
 - 1) 庁舎増築事業等整備について
 - 2) 平成19年度重点プロジェクト事業等実施状況について
 - 3) その他
- (5) 閉会

4. 出欠席者

- (1) 出席委員[10名] ※委員名簿は別紙
- (2) 事務局
伊藤企画部長、小澤企画課長
米山総務部長、藤田総務課長、総務課総務担当加々美リーダー
小宮山駅周辺整備室長
企画課総合政策担当・有泉リーダー、石合、宮川

5. 審議事項議録

- 1) 庁舎増築事業等整備について

[総務部長]

総合計画の専門部会の答申を受け、また職員の検討委員会を経て、現在の北部公民館を取り壊し、新たに庁舎と公民館機能を兼ねた庁舎を増築し、敷島庁舎については新たに建設、双葉庁舎については耐震化を図るという方向の結論となった。今後、各団体や議会の代表の方たちにお願ひし検討委員会を立ち上げ、住民の意見を取り入れながら検討を行っていきたい。詳細については、総務課長より説明する。

[総務課長]

(資料を用いて説明)

[会長]

総務課長より報告がありました。何かご自由に意見を。

[委員]

住民にとっては、願ってもないこと。特に福祉に関しては、一通りの手続きができるようにしてほしい。

[総務課長]

増築部分の低階層に相談窓口を設けようと考えている。敷島庁舎の一階がそのまま同じように移動する形になる。

[委員]

ひとつの福祉の問題にしても、あっちこっちとにならないようお願いしたい。また、通信の整備もお願いしたい。

[総務課長]

システムに関しても整備する。

[委員]

窓口業務について、支所は今までどおりか。

[総務課長]

今までどおり。

[委員]

駐車場の問題は、どのように考えているのか。

[総務課長]

今の状況を総務課で調査している。今後検討委員会で検討を行いたい。

[委員]

拡張などを視野にいれながら、考えていくということですね。

[総務課長]

そうです。

[委員]

竜王地区へ集約としていくとすると、職員数はどのくらい増加するのか。また、敷島庁舎の解体後は、どういった利用を考えているのか。

[総務課長]

130～140人くらいとなる。

[企画部長]

職員数については、行革を行い、適正化を図っている。500人いる職員を、5年間で450人に削減するという方向性ができている。先ほど総務課長が話した人数は、今の状況であり、今後事務事業の見直しを行いながら、必要な部分はどこなのかを検証していくうえで変わる。もちろん住民サービスの低下を招かないようにしていきたい。また、敷島庁舎については、耐震化は難しい。取り壊してどうするかは決まっていないが、今後検討していく。

[委員]

防災センターは、取り壊したりするのか。

[総務部長]

検討委員会で考えていく。

[委員]

増築ということだが、面積的にはどのくらいになるのか。

[事務局]

あくまで机上の話のだが、公民館フロアで1,860㎡、全体で4,800㎡となる。若干増える可能性はある。

[会長]

全体で、4,800㎡ですね。

[委員]

増築ということでもいいのかと思うが。

[総務部長]

一階のフロアがつながる形になるので増築と考えている。

[会長]

竜王地区自治会でも話しがあったが、今ある庁舎がこのまま伸びる形で検討しているようだ。

[委員]

高さはどのくらいになるのか。

[事務局]

イメージ的には、今のところ現在の庁舎と同じ高さになる。

[委員]

東が高くなるとあまりよくない。

[副会長]

第2庁舎とは呼ばないのか。

[総務課長]

専門部会の案が基となっている。名称について今後検討していく。

[会長]

専門部会では、新しく作るという考えで、第2庁舎とつけている。

[企画部長]

北部公民館との関連もある。それも含めて検討していく。

[副会長]

はじめに、基準をしっかりとしておくことが必要だ。

[委員]

敷島、双葉にいる人達が第2庁舎に入るのか。

[企画部長]

それも含めて検討していく。

[総務課長]

今後庁舎検討委員会を設けて検討していきたい。

[委員]

北部公民館は2年間使用できないとのこと。この間の公民館機能はどのように考えているか。

[総務課長]

教育委員会の生涯学習課を中心に、利用者団体に集ってもらい説明をしている。今後も説明していく。

[会長]

他の施設を活用するということになると思う。

(総務部長、総務課長、総務課総務担当リーダー 退室)

2) 平成19年度重点プロジェクト事業等実施状況について

[事務局]

(重点プロジェクト事業進捗状況説明)

[委員]

クラインガルテンに平日行ったら、直売の野菜が何もなかった。いつ直売を行っているのか。

[事務局]

土日の週2回だと思う。平日についても考えてもらうよう担当課へ話す。

[委員]

売上はどうなっているのか。

[事務局]

指定管理なので、ゆうのう敷島の管理運営にあてている。

[委員]

竜王駅の短時間駐車場はどこになるのか。また、駅から降りて見る南側の景色はどうなるのか。

[事務局]

短時間駐車場は、屋根部分に入る。今の駐輪場は、ロータリーに入ると思う。ほさか食堂より南はそのまま。屋根部分には、建物施設はない。甲府駅北口に屋根があるイメージ。駅の南側のイメージは、商工会でも検討していると思うが、職員の研究会でも検討し、民間による活性化を考えている。

[会長]

前に、中村委員からプロジェクト開発が可能かどうかという意見もあった。視界を遮られるようでは困る。

[委員]

地図の黒くなっている道に囲まれた白いところは民地か。

[事務局]

そうです。

[企画部長]

今後都市計画マスタープランを策定していく。開発については、いろいろな手法があると思う。規制等の関係もあり、地域の理解を得ていかなければと思う。こういった地域審議会での意見を担当課や市長にも話したいと思う。

[副会長]

駐輪場の現況等はどうなっているか。また、短時間駐車場の規制はどのように考えているのか。

[企画部長]

短時間駐車場の時間は、議会でも話しがでた。今後検討していく。駐輪場は南口は今より広くなる。北側がある分、余裕があると思う。

[副会長]

駐輪場はバイクも含まれるのか。

[事務局]

含む。現状は、北部の利用者の方が多い。

[会長]

なかなか北口のイメージは湧かない。

[副会長]

タクシープールだが、駅前を利用する。甲斐市の所有地だが、甲斐市として許可を出したり利益が入るのか。

[事務局]

許可は、甲斐市で出すと思う。

[委員]

現在の合同さんは、構内権をJRに払っていると思う。

(駅周辺整備室長 入室)

[駅周辺整備室長]

タクシー会社から料金を取ることは、今のところ考えていない。屋根をかけるのも、利用者の利便性や、交通弱者を守るという面もある。

[副会長]

プールということになると、業者の占有となる。

[駅周辺整備室長]

今後、管轄がどこの部署になるかわからないが、今後検討していく。

[副会長]

細かいことになるが、管理上の問題がある。何か起きた時の責任をどうするのか懸念される。

[企画部長]

自由通路は市の管理、駅舎はJR。今後管理区分について、協定等が必要と考えている。

[会長]

駅に付属した観光案内所のようなものはどうなのか。

[駅周辺整備室長]

自由通路内は市の管理部分となる。案内所は難しいが、ネット端末は置く予定。

[企画部長]

(県との) 契約はしているのか。

[駅周辺整備室長]

駅前広場は、設計の最中。県のほうとも協議中。

[事務局]

南口駅前には段差になるのか。

[駅周辺整備室長]

段差はでる。

[委員]

観光パンフレットを置く施設はあるようだが、説明する人材、ボランティアをおくことはどうか。

[駅周辺整備室長]

音声の出る総合案内板は置く予定。ボランティア等については、今後検討していく。

[委員]

観光客は、個人で来る人達が多い。

[企画部長]

観光事業をどうするのかを含め、今後検討する。

[委員]

竜王駅には、まえにパン屋があった。JRのなかにお店を作るとしたら、やはたいもを売る場所を貸してくれるような計画はあるのか。

[駅周辺整備室長]

キオスクは入る。特産物を売るスペースはまだ計画にない。

[会長]

今後の検討課題として、ご意見を出してもらえたらいいと思う。

[委員]

やはたいもに限らず、一般野菜を売れるような場所をお願いしたい。

[会長]

双葉のETCで高速道路と駅とが一体化してくれば、こういった問題も増えてくる。

[企画部長]

以前、双葉サービスエリアでも行った。品数の問題もある。今後検討していく。

(駅周辺整備室長 退室)

[会長]

それでは、次に平成19年主要事業進捗状況について、事務局より説明願う。

[事務局]

(資料を用いて説明)

[会長]

何かご質問は。

[委員]

コミュニティバスの件、パークス本店がやめると聞いた。食は一番大事なことなので、スーパー巡りとして使えないか。

[企画課長]

利用者が少ない現状。少なくとも経費がかかる。駅周辺整備事業の交付金をもらい、20年3月までの実験線。広報等でPRは行っているが、なかなか利用者が伸びない。営業バスと競合する路線は認可がおりない。意見としてはもらうが、非常に難しい。

[企画部長]

2年間の実験線。成果を総括しないとまらない。費用対効果を考えてやっていかなければならない。

[会長]

横の路線の利便性、何回も出ている。検討してもらいたい。

[委員]

各小学校の耐震はどうなっているのか。敷島の総文裏の体育館の天井がはがれていた。それぞれの避難場所は大丈夫か。

[企画部長]

S56年以前のは、耐震の対象となる。財政的なものもあるが、随時行っていく。

[委員]

できるだけ早く、優先してやってもらいたい。

[企画部長]

学校数が多い分、竜王地区が遅れているのは事実。

[企画課長]

敷島の総合体育館は、H5年の建築だと思う。天井の板は軽いので、風で動いてしまう。万が一落ちてても軽いため危険性は少なく、耐震面からも問題はない。直すには、足場から何十万

もかかってしまうため、時期をみていると思う。

[委員]

市立保育園の耐震で、残る5か所はどこか。

[企画部長]

残り5か所は竜王。竜王は大規模により、若干の補強はしている。敷島と双葉は2階建てのため、早期にということ今年やっている。竜王についても、今後行っていく。

[委員]

竜王は耐震はやっていない。調べてほしい。

[企画部長]

耐震はやっていないので、今後やっていく。

[委員]

竜王は園児が各園80人～100人いる。何かあったら大変なので急いでもらいたい。また、双葉の土地改良区は一つになったのか。

[事務局]

そういうのではなく、今までの2団体が、それぞれ堰の清掃を組合員が独自に毎年やっていたが、経費的な面でこの事業をそれぞれがとり入れた。

[委員]

自治会長にお願いしたい。竜王の河川清掃は合併前は2回だったが、1回になってしまった。経費的な面も考慮しながら、今後自治会のほうで方向転換を考えてもらいたい。

[会長]

2回にしたほうがよいことは承知しているが予算のこともある。できればボランティアに2回のうち1回してもらえればと思っている。

[委員]

釜無川から土砂が入る。今後検討してもらいたい。

[企画部長]

今回の事業は、土地改良区の水路の話。通常の河川清掃とは違う。

[会長]

河川清掃については、自治会、市民からの意見として上げていき、年2回やっていかなければと思う。

[委員]

市民がやらなければとということではなけいばいけない。

[会長]

そうです。ではこれで審議事項については終了する。その他としてご意見は。

[委員]

ニュースで見たが、東京都稲城市は介護保険減額を導入している。65歳以上の市民が介護ボランティアの時間数に応じて最高5,000円まで免除を受けられるもの。甲斐市としても検討してほしい。

[企画部長]

介護保険については、給付が伸びてしまっていて大変な状況。市としては、財源の問題もある。担当課には話す。

[委員]

見返りがあると、ボランティアに参加する人が多くなる。元気な人が多ければ、介護保険は使わなくなると思う。

[会長]

他にご意見は。

[委員]

防災について、自治会での災害弱者の名簿作成をお願いしたい。行政からの指示を待つのではなく、区で進めてほしい。

[会長]

自治会定例会では話してある。行政に頼らず、区で弱者を守るという意識が必要である。